

～初級から楽しく描こう～

第11期 楽しい水彩・パステル

【10月の活動報告】

10月2日(月) 水彩 風景(3)空、雲、山、水面

○土方先生の講義で、テキストに基づき、風景画を描く際の「空」「雲」「山」「水面」の描き方について具体的な解説がありました。

「空」は、一色では無い。空気遠近法と同じように手前を濃く、遠くを明るくして遠近感を出す。

「雲」は、絶えず変化しているので、最初に見た印象を大切に絵の中でバランスよく配置する。

「山」は、形の面白さに加え、刻々と変化する色彩も美しいので、細部にこだわることなく大まかに描くことが出来る。

「水面」は、水をスケッチする場合、水面を表すことと水面に反映してできる映り込みを表すことの2種類を描く必要があり、水面は横タッチ、水に映った影は主に縦タッチで描く。



○今回から講義の時間を1時間に短縮し、鉛筆デッサンを含め、自由に制作する時間を増やしました。

先生の指導を受けながら制作を進めていきます。また、自宅で描き上げた作品を見ていただき、アドバイスを受けることが出来ます。受講生の絵画の種類も水彩、油彩、パステル、色鉛筆など多彩になってきました。



10月16日(月) 校外学習 「神戸どうぶつ王国」

○今年度2回目の校外学習は、神戸市のポートアイランドにある動植物園「神戸どうぶつ王国」に行きました。

この施設は2014年に開園、「動物園は動物図鑑ではない。野生に近い姿を間近で見て驚きや感動を味わえる『野生への扉』であるべきだ」との考え方から檻やガラスケースを極力排除した動植物園で、園内では約150種類の動物と約1,000種類の植物に出会い、触れあったりすることが出来ます。

平日にも関わらず、家族連れも多く、皆、童心に帰って動物、植物などを間近に見て触ったり写真を撮ったり、スケッチをして快晴の秋の一日を楽しみました。



10月30日(月) 風景 (4)樹木、岩、建物

○土方先生の講義は、風景画を描く際の「樹木」「岩」「建物」の描き方についての具体的な解説でした。

「樹木」は、おおつかみに円盤のカタマリでとらえ、「建物」は、影を表現することで、奥行きと存在感を与える。

また木・石などの材質感を出すこと。

○自由制作の時間は、先生の指導を受けながら進めますが、11月の「ふれあい交流祭」には、各自の作品を出展するので、先生のアドバイスをしっかり受け止めようと、受講生にも力が入ってきました。



(第2班:広報担当)